

第4学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「ハッピーカード」(工作)

2 題材の考え方

本題材は、家族や友達に感謝やお祝いなどの気持ちが伝わるように、飛び出すカードの仕組、絵や模様、文字や動きの美しさや面白さなどを工夫して、楽しいカードをつくることをねらいとしている。

この題材を通して、子どもたちは飛び出すカードのもつ平面が半立体になる面白さや意外性に着目し、手づくりのよさを大切にしながら、メッセージが伝わるようにカードをつくることができる。また、日頃の生活の中での気持ちを相手に伝えることで、子どもたちは手づくりのよさや人の心の温かさを実感することができる。

この学習における人とのかかわりでは、もらった人や自分も楽しくなる・嬉しくなるような飛び出すカードを考える。相手を思い、何を伝えたいのかを考える活動を通して、子どもたちは伝えたい相手への思いでいっぱいになることができる。また、友達と交流しながらカードづくりをすることで、自分のメッセージが楽しく伝わるよう、よりよい仕組やより面白いカードの形や色を工夫することができる。















3 人とのかかわりを大切に学習指導の工夫

- 道徳の時間と関連付けた人との出会いと飛び出すカードのイメージづくりの工夫
であいの学習過程において、道徳と関連付けて、たくさんの人が自分の生活を支えてくれていることに気付き、感謝する心をもたせる。また、学級でカードをもらった経験や渡した経験を話し合うことで、自分が伝えたい相手やメッセージを明確にもたせることができる。
- 自他の表現のよさや工夫を交流し合える時間、場、グループの設定
どの時間も4人組のグループで活動させ、お互いの表現のよさや工夫を交流しやすいようにする。であいの学習過程の、飛び出すカードの基本の仕組をつくるときには、グループの教え合いで様々な仕組をつくることができると期待できる。表現の学習過程でも、子ども同士でアドバイスし合ったり、自分の工夫を友達に紹介したりすることができる。また、材料コーナー・用具コーナーを教室の中央に設置することでグループ外の友達との交流ができると考える。
- 自他の表現のよさや面白さを認め合ったり、自分の表現に生かしたりする鑑賞活動の工夫
であい・表現の学習活動では、グループで友達とアイデア、仕組、色などのよさや工夫を交流することで自分の表現に生かすことができると考える。鑑賞の学習過程においては、伝えたいメッセージが伝わるような色や形、文字や動き、材料や仕組の組合せを手掛かりに、グループの中で問題を出しながら、それぞれの作品のよさや面白さを味わうことができると考える。そのため、メンバー構成を変えたグループを新たに組み活動する。

4 本題材の目標

- 飛び出す仕組に関心を持ち、もらった人が楽しくなるような、形や色、動きを工夫したカードをつくることに取り組もうとする。(造形への関心・意欲・態度)
- もらった人が楽しくなるようなカードを思い付き、伝えたいメッセージが伝わるように、色や形、文字や動きなどを考えることができる。(発想や構想の能力)
- 飛び出す仕組をいろいろ試すとともに、自分のイメージに合った色や形、文字や動きなどのよさや面白さを工夫して表すことができる。(創造的な技能)
- 自分や友達の作品を見て、伝えなかった思い、色や形、文字や動きなどのよさや面白さに気付き、伝え合うことができる。(鑑賞の能力)

5 指導計画（6時間）

	ねらい	学習活動	配時
であ	カードを開くと飛び出す基本の仕組を試し、形の変化や動き方の感じをとらえる。	<p>1 道徳の学習を想起し、だれにどんなメッセージをおくるか話し合う。</p> <p> ぼくは、野球の監督にカードをおくろうかな。</p> <p> 友達に、いつも仲良くしてくれてありがとうと伝えたいな。</p> <p>2 基本の飛び出す仕組をつくる。</p> <p> 4つも基本の飛び出す仕組があったのね。</p> <p> この飛び出すカードの仕組は、どうやってつくるのかな。</p>	1 4年2組 本時
表現	飛び出す仕組の動きを使った、自分が表したいカードのイメージをもつ。 材料や形や色、飛び出す仕組の感じをとらえ、表したいイメージを深めながら、カードをつくる。	<p>3 飛び出すカードの仕組を試しながら、自分のカードに合う仕組を考える。</p> <p> ぼくは、弟に誕生日カードをつくるよ。車の形の飛び出すカードにしよう。</p> <p> 私は、仕組を2つ使ってみようかな。字が飛び出るようにしたいな。</p> <p>4 自分がカードで伝えたいイメージに合うように形や色、仕組を選び、カードづくりをする。</p> <p> 赤の台紙に黄色で字をつけると目立つね。</p> <p> この動きはおもしろいね。どうやってつくったの。</p> <p> ここにこの色は似合わないな。どの色にしたらいかな。</p> <p> この仕組の組み合わせはスムーズに動かないかな。</p> 	1 4年3組 本時 3
鑑賞	作品をお互い鑑賞し、伝えたかった思い、形や色、飛び出す仕組を見て、互いのカードのよさや面白さなどの感じをとらえる。	<p>5 自分や友達作品を見て、伝えたかった思い、形や色、飛び出す仕組や動きのよさや面白さに気づき、伝え合う。</p> <p> お母さんの優しいイメージに合うピンクにしたのね。カードから、花束や文字が飛び出す仕組がいろいろ。</p> <p> サッカーのコーチにボールの形のカードをつくったんだね。飛び出す仕組が3つもつくってあっていいな。</p> <p> 友達が、僕のカードの色の組み合わせがいいねと言ってくれたよ。自分では気づかなかったけれど、本当に字がはっきり見える組み合わせだったな。友達こほめてもらって嬉しいな。</p> <p>・自分がつくったカードを相手に渡し、その感想を後日尋ねることを伝える。</p>	1 4年1組 本時

第4学年1組 図画工作科学習指導案 (鑑賞)









6 本時目標 (6/6)

- 自分や友達の飛び出すカードを見て、伝えなかった思い、形や色、文字や動きなどのよさや面白さを伝え合うことができる。 (鑑賞の能力)

7 本時学習にあたって

自分の作品について、友達に問題を出し答えてもらう方法で、グループごとに鑑賞会を行う。そのため、であい・表現の段階とはメンバー構成を変えたグループを教師が作品から意図的に組む。その後、他の友達の作品を鑑賞する際にも、始めにグループでの鑑賞活動をすることで、作品を見る視点が明確になり、本時目標が達成できると考える。また、友達とコメントを交換することで、自分の活動に自信をもつことができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>台紙の色は、お母さんが好きな色にしたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>仕組を3つ組み合わせたよ。</p> </div> </div>	<p>○ 自分の飛び出すカードと前時に書いた鑑賞カードを見て、作品に対する思いや工夫を確かめさせる。</p>
<p>めあて 自分や友達の飛び出すカードを見合い、作品のよさや面白さを伝え合おう。</p>	
<p>2 飛び出すカードを鑑賞し、友達のよさのコメントを書く。</p> <p>(1) グループで、一人一人の作品の見てほしいところをクイズにし、カードを開きながら、鑑賞する。</p> <div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>ぼくのカードには飛び出す仕組がいくつかあるよ。どこにあるか探してね。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>ケーキは、仕組①が3つ重なっているのね。クラッカーは、仕組③だわ。たくさん仕組があるのね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>このバネは、基本の仕組ではないけれど、字が飛び出して見えるね。工夫しているね。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  </div> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 150px;"> <p>そうか。僕の考えた答えとは違うけれど、ここも工夫した仕組だったんだな。</p> </div> <p>(2) 他のグループの作品も鑑賞する。</p>	<p>※ 自分の作品に込めたメッセージや作品の面白さ・美しさをクイズ形式で交流させるため、であい・表現の学習過程とは違う4人グループを教師が仕組む。</p> <p>○ 形や色をもとにした鑑賞を行うようにするため、「鑑賞の視点」を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいメッセージ ・形や色をもとにしたイメージ ・動きの面白さ・仕組の組み合わせ <p>○ 友達が言ってくれたクイズの答えは、みんな自分のよさであることを伝える。</p> <p>※ 友達に鑑賞の視点から見たコメントを書けるよう言葉かけをする。</p> <p>○ コメントを書くことが主な活動にならないよう、短時間で書けるコメント用紙を準備しておく。</p>
<p>3 本時学習の振り返りをする。</p> <div style="display: flex;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>私のカードのピンクと赤の組み合わせが、温かさを感じると書いてもらって嬉しいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 150px;">  <p>○○さんのあの仕掛けはよかったな。今度、つくってみたいな。</p> </div> </div>	<p>○ 友達からもらったコメントを読み、改めて気付いた自分の作品のよさや工夫点を、図工ノートに書くよう促す。</p> <p>※ 自分がつくったカードを伝えたい相手に渡した感想を、後日尋ねることを知らせる。</p>

第4学年2組 図画工作科学習指導案（であい）

6 本時目標（1 / 6）

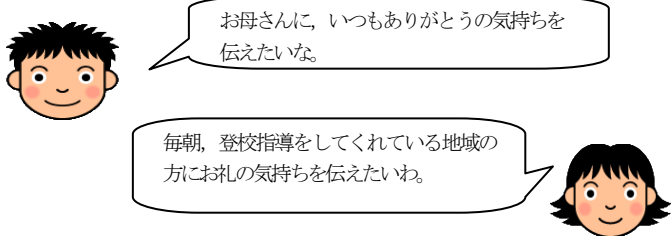
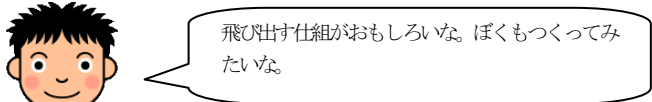
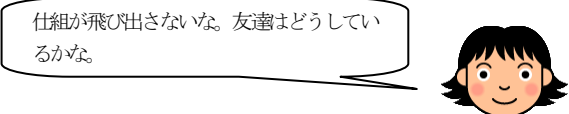

- 飛び出すカードの仕組に関心を持ち、基本の仕組をつくることができる。

（創造的な技能）

7 本時学習にあたって

初めに道徳で自分たちの生活を支えている人について学習したことを想起し、飛び出すカードをつくって自分の感謝の気持ちを伝えることを知らせる。次に飛び出すカードを提示して、仕組の面白さや意外性に気づかせ、相手も自分もうれしくなるようなカードをつくりたいという意欲を高めていくようにする。さらに、グループの友達と交流しながら飛び出す仕組づくりをすることで、4つの基本の仕組を理解していくことができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 <u>※人とのかかわりに関する支援</u>
<p>1 道徳の学習を想起し、飛び出すカードで、だれにどんなメッセージを伝えたいのかを図工ノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれに贈りたいのか。 ・どんな気持ちを伝えたいのか。 	<p>※ 道徳で、自分の生活を支えてくれている人への感謝の気持ちや学習したことを話し合いながら思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飛び出すカードを見せたり、今までにカードをもらったり、渡したりした経験を話し合い、カードづくりへのイメージを膨らませる。 ○ 題材名「ハッピーカード」を提示して、渡した相手も自分もうれしくなるカードをつくることを知らせる。
<p>2 本時のめあてを確かめる。</p>	
<p>めあて 飛び出すカードの仕組をつくろう。</p>	
<p>3 飛び出す仕組をつくる。</p> <p>(1) 基本の仕組のつくり方を知る。</p>  <p>(2) 基本の仕組をつくる。</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飛び出す仕組の例を見せ、飛び出すカードのもつ平面が半立体になる面白さや意外性に気付かせ、基本の仕組のつくり方を確認する。 ※ 活動をグループの形にして行い、友達に教えたり尋ねたり、自然に交流しながら活動することができるようにする。 ○ 基本の仕組を各グループにも配り、見ながらつくることのできるようにする。
<p>4 図工ノートで本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分がつくるカードには、どんな飛び出す仕組を使うかを考えていくことを知らせる。

第 4 学年 3 組 図画工作科学習指導案 (表現)







6 本時目標 (2 / 6)

- 基本の仕組をもとに、自分が伝えたい思いに合うカードの仕組や台紙の形を試しながらつくること
ができる。 (発想や構想の能力)

7 本時学習にあたって

前時につくった基本の仕組をもとに自分のカードに合う仕組を試しながらつくる。カードの台紙の形も工夫してよいことを伝え、自分の思いがより伝わるカードになるようイメージスケッチをかく。グループで活動させることで、友達表現のよさを取り入れたり教えあったりしながら活動することができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援
<p>1 前時を振り返り、めあてを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>お母さんに、いつも ありがとうの気持ち を伝えたいな。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>習い事の先生に、 お礼の気持ちを伝 えたいな。</p>  </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>めあて 自分が伝えたい思いに合うような、カードの仕組や形を考えよう。</p> </div>	<p>※ 自分のカードをイメージさせるために、だれにどんな思いを伝えたいのかを図工ノートを見ながら想起させる。</p>
<p>2 自分のカードに使いたい飛び出す仕組や形を試しながら、イメージスケッチをかく。</p> <p>(1) 仕組や形を試す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>わたしのカードには、 ①と④の仕組が 合っていると思うわ。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>野球のコーチには、 ボールの形のカード をおくったら喜んで くれるかな。</p>  </div> </div> <p>(2) イメージスケッチをかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の伝えたい思いに合うような飛び出す仕組や形を考えることができるように、仕組を組み合わせたり、3種類ぐらいの資料を見て台紙の形を工夫したりしてよいことを伝える。 ※ 友達表現のよさを取り入れたり教えあったりすることができるように、グループの形で活動させる。 ○ 仕組や形を試しながら自分のカードのイメージをかためていくために、悩んでいる子には友達の作品や参考作品を見てよいことを伝える。
<p>3 図工ノートで本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>気持ちが伝わるように お母さんが好きな色に しようかな。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>モールやタコ糸も使って みようかな。</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えたい思いに合った材料を集めるために、必要な材料を図工ノートに書きとめておくように伝える。 ○ 色の工夫をしてみたいと意欲をもたせるために、次時で使うカードの材料(カラーフォーム、色画用紙など)を知らせる。